

〇4月10日(日)開催 第3179回例会
兵庫県山岳連盟同調 青春18キップで行く
北陸の山「カタクリ咲く文殊山へ」

布引支部(兵岳連普及委員会所属)吉野 宏

令和4年度兵岳連普及委員会のトップ行事として企画した「文殊山・もんじゅさん」登山。白山を開山し、白山信仰を広めたことで有名な奈良時代の修験僧・泰澄(たいちょう)大師によって養老元年(717年)に開山された越前の山である。白山を含めた「越前五山」の内の一山であるこの山は、麓にある角原地区からの眺めが富士山に似ているとのことから村人達に崇められ、いつしか「角原富士」の別名で呼ばれるようになり親しまれてきた山でもある。



(スマートに咲くカタクリ)

近年この山が賑わいを見せているのは、タイトルにも謳っているようにこの季節に咲く「カタクリ」の自生する株の多さに魅かれ、開花を楽しみにしているハイカーが多いからだろう。カタクリの開花は、4月10日前後とされているが、温暖化の影響もあり、日程計画に迷いがあったが、青春18きっぷの超お得さを利用し、使用期限ぎりぎりの4月10日(日)とした。

JR三ノ宮駅7:00集合。新快速湖西線經由敦賀行7:20発に乗車。参加者は案内役の私を含め16名。(青春18キップは5回分が1枚となっている為、3枚を前もって購入していた)敦賀で北陸線に乗り換え、北鯖江駅10:37着。所要時間は3時間と17分であった。



(登山口に咲くイカリソウの群落)

入山は駅より20分程歩いた文殊山系の南側登山口にあたる酒清水(さかしょうず)からである。年間を通じて枯れることの無い豊富な清水が湧き出ているこの場所は諸伝説があるらしいが、一口飲んで出発することにした。いきなりの急斜面に取付くが、ふと横の斜面を見るとイカリソウが驚くほど群生していた。カタクリは昼食タイムとした橋立山を越えたあたりからチラホラと見れるようになった。



(陽光を浴びいかにも楽しげに咲くカタクリ)

幾度かアップダウンを繰り返し、奥の院が近づいてくると、右手の小高い台地付近は足の踏み

場もないぐらいの多くが自生した場所となる。



(足の踏み場も無いほど一面に咲くカタクリ群生)

幸い好天に恵まれた為、競うがごとく精一杯美しいポーズで開花し、あちらこちらで私達を迎えてくれた。

カタクリの花言葉は「初恋」とか「淋しさに耐える」とのことらしいが、発芽してから8年も9年もしなければ開花出来ないとのこと、なんだかうなずける花言葉のような気がした。



(朽ちた倒木の下から頭をもたげたカタクリ)

文殊山地の最高峰は366Mと低山ではあるが結構アップダウンを繰り返す山地で、カタクリやイカリソウなど、春を彩る花々がなければ、山上の本堂に安置されている「文殊支利菩薩」や、奥之院の「正観世音菩薩」、室堂の「阿弥陀如来像」などを崇め、お参りする土地の方々ぐらいしか訪れないのでは？と思われる山だ。しかし、福井市や鯖江市の小学校の遠足にもよ

く選ばれ、信仰の山でありながら、裾の住民や福井・鯖江市の市民ハイキングコースとして親しまれているようであった。



(奥之院の裏手にある二等三角点にて)

奥之院(通称・大女)の裏手に到着し、二等三角点を確認。ここから高低差がわずか16Mしかない本堂(通称・大文殊)はすぐ!・・・と思っていたら未だ登り下りがあった・・・。



(胎内潜りの岩をくぐる参加者)



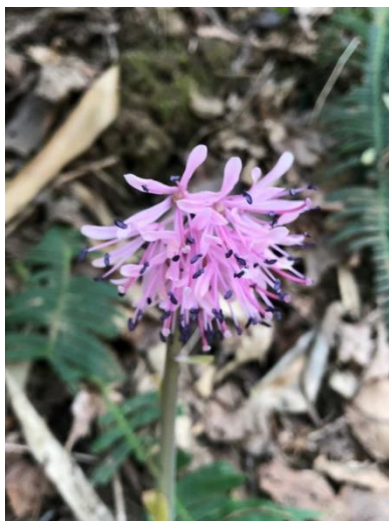


(山上の本堂横にて)



(山上の北側から望む白山を含めた奥越の山々)

本堂からは帰路コースとなる二上コースを辿ることとし、下山にかかる。
この辺りのコース上に咲いているカタクリは本堂に近い為か、お参りの人の為かは知らぬが、柵を施し保護状態であった。



(ショウジョウバカマ)

天狗杉のある広場で集合し、七曲坂を下るがこの道の両側にも、遅咲きのショウジョウバカマやヤマネコノメソウなど春の花を見ることが出来た・・・。

間に合わないと思っていた帰路の乗車駅・JR大土呂駅へは、普段走ったことの無いKさんを叱咤激励！・・・青息吐息のがんばりで、なんとか滑り込みセーフ！！・・・と思いきや、列車が遅延で15分近くも待つ羽目に！！

青春18キップが使用できるこの時期に、往復2500円程度の運賃で行ける山行計画は、雪が解けるのを待ちわびるように、花々が一斉に咲く北陸路の山は絶対おすすめである。



(さよなら！と手を振る様なそぶりのカタクリ)

◇コース JR三ノ宮駅＝湖西線經由・北陸本線・北鯖江駅～酒清水～橋立山～奥之院～文殊山～小文殊～天狗杉～二上登山コース～JR大土呂駅＝湖西線經由三ノ宮駅（解散 19時）

天候 晴れ

参加者 16名（内ヒヨコ16名）

—追記—

時間的に余裕があり、ゆっくりと歩きたい場合は、米原経由の列車で帰神する計画を立てれば良いだろう。